

令和2年度第1回山口市子ども・子育て会議（書面会議）
御意見及びこれに対する市の考え方

委員の皆様から提出された御意見及びこれに対する市の考え方は、以下のとおりです。

1 「山口市子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況について

	意見	意見に対する市の考え方
1	<p>資料1の14ページならびに資料2の11ページに記載があります、市内の放課後児童クラブにおいては、今年度4月1日現在で124名の待機児童が見られます。</p> <p>令和元年度に新規開設による定員の拡大が図られ、ここ3年は減少傾向がみられるものの、前年度からの減少数の幅は小さく、いまだ100名を超えています。こうした現状は、申込者数が想定を上回り、定員拡充の取組みがそれに追いついていないため生じたのであらうと思われます。</p> <p>また、今年度に入ってからコロナ禍によって、子育て家庭の中には経済的状況が悪化した家庭が増加している可能性もあり、それにとまなう親の就労時間の延長や、新たに就労する親の増加も今後予想されることから、放課後児童クラブのニーズはますます高まるのではないかと考えられます。</p> <p>こうした現状をふまえて、今後とも、放課後児童クラブの定員拡大、ならびにそれにとまなう支援員の確保等の支援体制の充実に、一層取り組んでいただければと思ひます。</p>	<p>【こども未来課】</p> <p>「第二期山口市子ども・子育て支援事業計画」において、計画期間中の放課後児童クラブ利用希望者数は今後も増加すると見込んでいることから、計画に基づいて、放課後児童クラブの定員拡大や支援員の確保等の支援体制の充実に一層取り組んでいきます。</p>
2	<p>待機児童解消の為という大義名分ですとんどん定員増や新設園ができていますが、そのうち施設が共倒れになるのではと心配しています。あと5年も経てば倒産も出るとの予測もあります。</p>	<p>【保育幼稚園課】</p> <p>区域毎に年齢区分に応じた定員数の過不足を予測する中で、今後、新設は最小限とし、既存施設での定員見直し等で対応していくことが望ましいと考えます。</p>
3	<p>放課後児童クラブの確保方策における待機児童数については、定員拡大を図っておられます。現段階で述べることはありませんが、別のニーズとして、ひとり親世帯等においては、開所時間の延長（18時以降の30～60分）という希望もあります。以前待機児童の解消がなされた後に、開所時間の延長を検討、とお聞きした（別の場所かも？）と思ひます。</p> <p>現計画では、後追いで待機児童の解消は困難でしょう。開所時間の延長事業は今後も「山口市子ども・子育て支援事業計画」に上らないのでしょうか。同時並行的に対処していくことも</p>	<p>【こども未来課】</p> <p>現在、放課後児童クラブの待機児童対策として、利用申込者数が施設定員を超えている学級においては、支援員等を増員し、基準の運用範囲内で弾力的な受入れを行いながら運営している学級があります。</p> <p>開所時間の延長は、支援員等の増員が必要ですが、各学級においては、支援員の確保に苦慮されている状況にあります。同時並行的な対応は現時点では困難なことから、まずは待機児童解消を最優先とし、ある程度待機児童の解消の見込みが立った段階で開所時間の延長に取り組</p>

	意見	意見に対する市の考え方
	大事だと思います。	んできたいと考えています。
4	<p>放課後児童クラブにおいては、待機児童、施設の確保と充実、人材確保および資質の向上、支援員の処遇等々、たくさんの課題があると認識しています。</p> <p>コロナ禍において、様々な対応を余儀なくされ、更なる課題が上積みされてきていると推察しますが、今後も子育て支援に欠かせない事業として、優先順位を上げて課題解決へ向けての取組みが進むことを期待します。</p>	<p>【こども未来課】</p> <p>放課後児童クラブは、共働き家庭など留守家庭の小学生を対象としており、特に小学校低学年の子どもは留守番が困難な場合があることから、このコロナ禍においても感染予防に留意したうえで開所してきました。</p> <p>今後も子育て支援に欠かせない事業として様々な課題解決に取り組んでいきたいと考えています。</p>
5	<p>資料1の12ページの子育て支援のネットワークづくりについてです。</p> <p>私は今、子育て支援拠点施設でスタッフをしています。</p> <p>6月ごろから来られている利用者さんで、子育てに不安を持っている、少し気になる方がいます。子育て支援拠点施設を利用される前は、「やまぐち母子健康サポートセンター」に行かれていたそうです。拠点施設で登録ボランティアをしているママさんがたまたまサポートセンターのスタッフの方との話の中で、拠点施設でボランティアをしている話になり、気になる利用者さんに拠点施設を紹介された事を聞いたそうです。</p> <p>こういった情報の共有を母子健康サポートセンターと拠点施設とが身近にできると、ちょっと気になる利用者さんをもっともっと気にしてあげられると思います。</p>	<p>【子育て保健課】</p> <p>支援が必要な方には、関係機関が情報共有を行い、連携しながら支援していくことが大切であると考えています。必要時スムーズに連携できるよう、日頃から顔の見える関係づくりに努め、保護者が安心して子育てできるよう、支援を行っていきたくと考えています。</p>
6	<p>① 資料1の1ページ、資料2の16ページの子育て支援短期利用事業の利用件数が大幅に減少しているのは喜ばしいことなのかもしれませんが、理由が気になります。考えられる理由はどんなことでしょうか。</p> <p>② 資料1の14ページ、資料2の11ページの放課後児童クラブについて、学級の新設・増築等対処されているにも拘らず、待機児童数があまり減っていません。希望者はこれからも増えると思いますので、親が安心して働けるためにも更に積極的な取組みが必要だと思いました。</p>	<p>① 【子育て保健課】</p> <p>主な理由としては、保護者の入院や疾病等の事由が少なかったことのほか、休日勤務等による預かりが減少したものです。</p> <p>なお、資料1の1ページの平成30年度、日中預かりは45日、トワイライトは22件、資料2の16ページの令和元年度、ショートステイは41が正しい数値でした。お詫びして訂正いたします。</p> <p>② 【こども未来課】</p> <p>第二期計画期間中の放課後児童クラブ利用希望者数は今後も増加すると見込んでいることから、計画に基づいて、放課後児童クラブの定員拡大や支援員の確保等の支援体制の充実に一層取り組んでいきます。</p>

2 特定教育・保育施設の利用定員の設定について

	意見	意見に対する市の考え方
1	利用定員の増員は大変有難いことですが、保育に当たられる方達の負担が今以上に増えないようにということだけが気掛かりです。ゆとりを持って、子ども達に接することができるよう、職場の労働環境が整えられますことを願っています。	【保育幼稚園課】 ICT化など、負担軽減につながるよう対策を講じることで環境改善を図り、一人でも多くの保育士確保に向け、潜在保育士の掘り起こしなどにも力を入れていきたいと考えています。
2	施設の充実は大変喜ばしい事ですが、保育者の確保はどの施設にとっても切実な課題だと思われます。働く環境も併せて充実させ、保育者にとって働く条件なども見直しをする必要があるのではないのでしょうか。	【保育幼稚園課】 前段でも申しましたとおり、ICT化など、負担軽減につながるよう対策を講じることで環境改善を図り、一人でも多くの保育士確保に向け、潜在保育士の掘り起こしなどにも力を入れていきたいと考えています。 なお、働く条件については、各事業者の方針等により、それぞれ事情が異なるため、市としてはより良い職場環境となるような支援を検討してまいりたいと考えております。

3 その他

	意見	意見に対する市の考え方
1	データに基づく様々な計画がありますが、コロナ禍における先行きの不透明な状況の中、これらに影響が出るのか、見直しが必要になってくるのかということが気になっているところです。	【こども未来課・保育幼稚園課】 予測困難な状況が想定されますことから、今後の状況を踏まえながら、必要に応じて計画の見直しを行いたいと考えています。 【子育て保健課】 ショートステイ等について、保護者の養育不安の高まりによる疲れから一時預かりの利用が増加することも予測されますが、第二期計画の想定する範囲内で適切に対応できるものと考えています。
2	放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）の「確保方策の考え方」についてです。これからも「働き方」によって利用児童も増えていくと思います。早めに確保方策を考えられて素晴らしいと思います。「公共施設等…」の中に学校施設の利用もよいのではと思いました。	【こども未来課】 放課後児童クラブの施設を整備する中で、小学校等の既存施設の有効活用も図りながら、放課後児童クラブ利用希望者数の増加に対応していきたいと考えています。小学校の利用については、教育委員会と調整を行いながら進めていきます。
3	① 子育て広場とは異なる、未就園児のママ等がホッとできるサロンが必要と考える。（ボランティアで託児を引き受ける） 昨年のごと、ボランティア（母子保健推進員の活動もしているメンバーでもあり未就園児の相手はできます。）で未就園児の子育て中のママたちの集いの場をなんとか設けた。	①【こども未来課】 山口市内には、おおむね中学校区を基本に26箇所の地域子育て支援拠点施設があります。拠点の増設や活動内容の充実については、今後、ニーズ等を把握しながら検討していきたいと考えています。

	意見	意見に対する市の考え方
	<p>ママたちがコーヒーでお菓子をつまみ雑談されている場で4～5人のボランティアが託児を引き受けた。ママたちは心おきなく交流し、楽しまれ、リフレッシュされた様子でした。コロナで中断したが、再開の希望が強い。</p> <p>② 母子保健推進員の活動は6月より訪問開始、7月より育児学級などの行事開始。いろいろ手立てを考え、それなりに工夫して開催を始めています。未就園児・ママたちは待っていたとばかりに参加され、楽しまれ、リフレッシュされた様子でした。コロナ禍でも今後は、工夫次第と思いますが従来のように様々な活動が再開されるよう祈ります。</p> <p>③ 地域の子育て力アップのために、母子保健推進員の活動、学校ボランティア活動が役立ちます。地域の人にアピールできるとよい。それに地域に安全に遊べる広場があると良いのですが…。</p> <p>最近、顔見知りの低学年の児童が（ファミリーサポートセンターで援助をしていた児童等）「おばちゃんトイレ貸して…」などで自宅に寄り少し遊んで帰ります。学童保育に行かない児童です。帰宅後、自力であちこち遊びに出たりの様子うかがえません。それに視力も落ちているようです。想像ですが（すいません。間違っているかもしれないのですが）テレビ、ゲームで遊んでいるのでしょうか。学童に行かない、行きたがらない児童が遊ぶことのできる場があるとよい。</p>	<p>②【こども未来課】 地域子育て支援拠点施設をはじめ、他の子育て支援関連施設について、コロナ禍においても従来どおりの活動が継続して行えるよう検討していきたいと考えています。</p> <p>③【こども未来課】 子どもたちが、次代の担い手として生きる力を育むよう、学校と地域が一体となり、成長をささえることが必要です。 地域の子育て力アップのために、母子保健推進員や学校支援ボランティア等が協力しながら、出張講座・研修・見学・イベント等を充実させ、子どもたちが放課後や週末等に地域社会の中で安全で安心して、健やかに成長することができる環境づくりを推進します。</p>
4	<p>以前からお願いしていることですが、6地区以外の公立幼稚園での3歳児からの保育を是非引き続き御検討ください。私立保育園・幼稚園との兼合いがあつて難しいということでしたが、選択肢は多い方がいいと思います。私が住んでいる吉敷地区でも、吉敷幼稚園はコミュニティにとって欠かせない拠点です。入園希望者数がこれ以上減らないよう御配慮をお願いします。</p>	<p>【保育幼稚園課】 子どもの人口が減少していく中、選択肢が増えることで、各園の園児が分散化することが想定されるとともに、私立園においては運営にも直接的な影響が及ぶことも懸念されます。そうしたことも見据え、第二期計画期間中に、市全体の今後の公立私立幼保の方向性について示していくこととしています。</p>